

あぐり情報
Aguri Information

営農生活課
石井　華奈

# 果樹園における大雨・滞水被害の対策について

本年8月に線状降水帯発生による豪雨から始まり、9月には複数の台風発生等によって近年類を見ないほどの長雨、降水量となりました。

管内では数日以上にわたり圃場で滞水が続いたところもあり、排水作業に苦心された方も多いかと思います。

果樹ではモモやイチジクで耐水性が低く、次いでナシ、カキ、ブドウの順に耐水性が高くなります。

イチジクやナシでは滞水が6日程度続くと葉の萎凋や黄化等の症状が現れ、最終的に枯死する場合もありますので、今後の大雨災害に備えるための対策についてご紹介します。

## まずは災害状況の記録

甚大な被害が起こった場合には、農林水産省等が支援対策を講じる場合があります。

支援対策を受ける場合には、災害状況が分かるような写真等が必要になります。

復旧にむけて、一刻も早く排水等作業を始めたい状況ではありますが、作業を始める前に災害記録を残すようにお願いします。

## 排水後に実施する対策

滞水被害を受けた果樹園において、排水後は次の対策を行いましょう。

①滞水した箇所で葉の萎れや落葉等が観察された樹は、根が傷んでいる可能性があるため、収穫後の礼肥の施用は避ける。

葉色が薄いようであれば、窒素成分を含む液肥の葉面散布等により樹勢回復を図る。

基肥は通常どおり施用する。

②滞水による根傷みや、長雨による日照不足等により、貯蔵養分の蓄積が不足することが懸念される。

貯蔵養分の浪費を防ぐため、来春までに剪定や花芽整理等の作業が遅れないようにする。

特に早期落葉等の樹勢低下が確認された樹は、例年よりも開花までに花数を減らすことを検討する。

次作の開花後も、樹勢に応じて着果量を調整する。

## ○ナシ園で注意すべきポイント

### 黒星病

9月の長雨により園内のナシ黒星病菌の菌密度が例年よりも高くなっていると推定されることから、秋季防除と落葉処理を徹底する。

特に、本作において黒星病の発生が多かった圃場は注意する。

### 胴枯細菌病

果樹胴枯細菌病（ナシのさび色胴枯れ病）は、多雨条件で感染・発病が助長され、排水不良園での発生が多い傾向がある。

圃場土壌の通気性の改善に努め、次作も樹体をよく観察する。

発病樹は根も含めて丁寧に抜根し、園外に持ち出し処分する。

### 白紋羽病

長雨により常に土壌の湿度が高く維持されたことで、土壌病害の白紋羽病の発生が助長される懸念がある。

白紋羽病の既発生圃場では、発生跡地の周辺や罹病樹周辺の化学合成農薬による予防や温水治療等の対策を実施する。

### 着果

貯蔵養分を温存するため、結果枝の更新は減らし、次作では古い結果枝を利用する割合を増やす。（短果枝での着果を優先する）

また、樹勢改善のために予備枝を多めに配置する。

## 事前対策について

今後の大雨に備えて次の事前対策を徹底しましょう。

①園内外の明渠・暗渠の排水路や排水口を点検し、土砂や落葉等の詰まりを取り除く。

②排水ポンプ（汚水用）の使用が想定される園地では、機器の動作、吸水・吐出ホース、燃料または電源、設置場所及び排水先を事前に確認する。

③地下方向への排水改善を目的とした縦穴暗渠は、次のア～エの適用条件を確認した上で、施工を検討する。

ア　地表または硬い土層（耕盤層）の上にたまる水を、その下の透水性のある層へ通すことを目的に実施する。

イ　施工する場所は、普段から降雨後に水がたまりやすい箇所（圃場内の低地等）の樹列の間（スピードスプレーヤーの通り道で硬い土層がある場所）を優先する。

ウ　穴は、電動式オーガ、ホールディガー等で直径約10㎝（それ以上でも可）、深さ50～60㎝を目安に掘り、もみ殻もしくは堆肥を充填する。

エ　列間中央に4～5m間隔を目安として穴を設け、降雨後の水の引き方を見て今後の増設を判断する。

試しに穴を掘った際に、穴の下層も粘質土で水を通さない場合は、縦穴暗渠による排水改善効果は期待しにくい。

また、地下水位が高い圃場では施工しない。

## 滞水した場合に行う事後対策

①滞水している場合は、速やかな排水に努める。

排水口の閉塞を解消し、園内の水を既存の排水路へ誘導する。

自然流下しない場合は、放流先の安全を確認した上で、低い場所に集水した後、汚水用の排水ポンプを用いて園外に排出する。

②地表水が引いても根域に水が残る場合があるため、排水後は葉の萎れ、落葉など樹勢の変化を観察する。

これらの症状が見られる場合は、気相を増やすよう、土壌が乾いた後にロータリー耕等で表面を混和し、通気性を確保する。

葉が巻いて回復しない場合は、樹の過剰な乾燥を防ぐために、傷んだ枝を中心に剪定・除去し、蒸散を抑制する。

③園地に土壌が流入した場合は、樹勢の低下を防止するために流入・堆積した土砂は、できるだけ早く除去する。

園内全体の土砂を取り除くことが難しい場合は、樹冠下部だけでも取り除く。

④土壌が流され、根が露出している場合は、可能な限り早く客土を行い、根の乾燥を防ぐ。

⑤倒伏した樹は、無理のない範囲で徐々に起こし、土寄せし支柱を立てる。

（出典：果樹園における大雨・滞水被害への対策、農林水産部担い手支援課、令和8年10月7日）

**天秤座　9/23～10/23**
【全　体　運】五感を刺激するレジャーがお勧めです。おいしい物を食べたりコンサートに行ったり。買い物は下調べが大事
【健　康　運】適度な運動と小まめな水分補給で血行を改善
【幸運の食べ物】ゴボウ

**蠍座　10/24～11/22**
【全　体　運】注目度がアップ。良いことが多いですが頼まれ事も増えそう。どれから取りかかるかしっかり見極めると開運
【健　康　運】ストレッチやつぼ押しで腰痛、関節痛を予防して
【幸運の食べ物】カリン